

【概要・目的】

CLTパネルや大断面構造用集成材等の付加価値の高い木製品の生産や製材品を量産できる大型製材工場を整備することで、高次加工された木製品や品質が確保された県産材製品の生産を拡大する。また、県内の中小企業加工事業体が加工力を高めるために必要な設備の導入・更新等に対する支援や、共同・協業化によるコスト低減の取組を促進する。

平成 28 年度の当初計画 (P)

1. 製材所の加工力強化

- (1) 大型加工施設のフル稼働
  - ・高知おおとよ製材のフル稼働 (10 月から原木加工量 10 万 m<sup>3</sup>/年ペース) 及び原木の安定供給  
H27:6,200m<sup>3</sup>/月 → H28.10 月から 8,333m<sup>3</sup>/月  
→ 関連事業 (原木供給体制を整備)  
木材加工流通施設整備事業による選別機等の整備:2カ所

(2) 個別事業者の加工力強化

- ・県産材加工力強化事業の実施による事業者の加工力強化
- ・個別事業者の実態調査等を通して、加工力強化に向けた方針の作成

2. 県内企業による協業化・大型化の検討

- ・個別事業者の状況把握を行い、本年度に協業化等に向けた検討を実施

3. 集成材工場の整備

- ・木材加工流通施設整備事業による構造用集成材製造施設の整備  
→ 12 月末までに施設整備

4. CLTパネル工場の整備に向けた準備

- (1) CLT用ラミナ工場の稼働
  - ・池川木材工業(有)第4工場の安定稼働
- (2) CLTパネル工場整備の検討
  - ・候補企業との協議
  - ・CLTの需要動向などの情報収集

5. 加工施設を中心としたクラスター形成の促進

※ 上記「1～4」の取組による

計画を進めるに当たってのポイント

- 1. 製材品の出荷の増大に向け、販売部門との連携

平成 28 年度の取り組み状況 (D)

1. 製材所の加工力強化

- (1) 大型加工施設のフル稼働
  - ・高知おおとよ製材がフル稼働 (10 月から原木加工量 10 万 m<sup>3</sup>/年ペース) に向けた増産  
H27:6,200 m<sup>3</sup>/月 → H28.4～11 月:6,700 m<sup>3</sup>/月
  - ・高知おおとよ製材運営委員会 (4/25、5/23、6/20、7/25、8/22、10/24、11/28、12/19、1/23 実施予定、2/20 実施予定、3/21 実施予定)
  - ・木材加工流通施設整備事業による選別機等の整備に着手  
(香美森林組合(11/1 完成)、津野町森林組合(3 月末竣工予定))

(2) 個別事業者の加工力強化

- ・県産材加工力強化事業の実施 (3 事業者)
- ・事業者の実態調査及び意見交換 (55 事業者)  
(6/22、7/13、7/15、7/22、8/9、8/10、8/19、8/24、8/30、8/31、9/5、9/7、9/12、9/13、9/28)
- ・事業者の実態調査及び意見交換の結果の取りまとめ、木材協会と意見交換・協議により方針を作成  
(5/12、10/25、2 月下旬実施予定)

2. 県内企業による協業化・大型化の検討

- ・事業者の実態調査及び意見交換 (55 事業者)  
(6/22、7/13、7/15、7/22、8/9、8/10、8/19、8/24、8/30、8/31、9/5、9/7、9/12、9/13、9/28)

3. 集成材工場の整備

- ・構造用集成材製造施設の整備 (11 月竣工)

4. CLTパネル工場の整備に向けた準備

- (1) CLT用ラミナ工場の稼働 (4/6 稼働)
  - ・池川木材工業(有)第4工場の稼働状況の把握 (5/10、5/18、7/15、7/21、8/9、10/12、11/15、12/15、1/17 実施予定、2 月中旬実施予定、3 月中旬実施予定)
- (2) CLTパネル工場に関する情報収集等
  - ・候補企業との協議 (4/9、5/23、6/20、7/21、8/2、1 月中旬実施予定、2/17 実施予定)
  - ・(一社) 日本CLT協会との情報交換 (5/25、6/6、6/22、7/27、8/31、10/24、11/10、1/11 実施予定、2 月実施予定)
  - ・フォーラムの開催等によるCLTのPR (11/1、11/10～11、11/22)

5. 加工施設を中心としたクラスター形成の促進

※ 上記「1～4」の取組による

課題と平成 29 年度の取り組み (予定) (C、A)

課題

1. 製材所の加工力強化

- (1) 大型加工施設への原木供給体制の整備
- (2) 個別事業者の加工力強化
  - ・設備投資の必要性の周知とニーズの把握
  - ・乾燥材等、寸法安定性の高い製材品の生産
  - ・付加価値の高い製材品づくり (防腐・防蟻処理の高次加工品の生産等)

2. 県内企業による協業化・大型化の検討

- (1) 県内事業者による協業・大型化
  - ・県内事業者の合意形成、資金調達、事業用地の確保、整備

4. CLTパネル工場の整備に向けた準備

- ・CLTパネルの需要拡大

平成 29 年度の取り組み (予定)

1. 製材所の加工力強化

- (1) 大型加工施設のフル稼働
  - ・関係団体と調整のうえ、原木の安定供給体制を確立
- (2) 【拡充】個別事業者の加工力強化
  - ・次年度に向けて、防腐・防蟻等の高次加工品の状況把握と事業者の掘り起し、事業戦略づくりに向けた勉強会の開催及び木材加工技術者等の人材育成等の支援

2. 県内企業による協業化・大型化の検討

- (1) 個別事業者の状況把握及び事業者の掘り起し
  - ・事業者の実態調査及び意見交換を実施

3. 集成材工場の整備

- (1) 構造用集成材製造施設の整備
  - ・来年度 4 月までに JAS 取得

4. CLTパネル工場の整備に向けた準備

- (1) CLT用ラミナ工場
  - ・池川木材工業(有)第4工場の稼働状況の把握及びラミナの供給体制の構築に向けた取組を個別事業者へ説明し、参画を呼びかけ
  - ・CLTパネル工場に関する情報収集等
  - ・候補企業との協議

5. 加工施設を中心としたクラスター形成の促進

※ 上記「1～4」の取組による

【平成 31 年度末の目標 (H28 到達目標)】

- 1. 製材所の加工力強化 (国産材の製材品出荷量) = H31:17.0 万 m<sup>3</sup> (H28:14.5 万 m<sup>3</sup> (H26 比 +1.6 万 m<sup>3</sup>))
- 2. 県内企業による協業化・大型化の検討 (原木消費量 3 万 m<sup>3</sup> 以上の製材工場数) = H31:3 社 (H28:2 社 (おおとよ製材(株)、(株) 中成))
- 3. 集成材工場の整備 (構造用集成材工場の工場数) = H31:1 施設 (H28:1 施設 (H26 比 -施設))
- 4. CLTパネル工場の整備 (CLTパネル工場の工場数) = H31:1 施設 (H28:-施設 (H26 比 -施設))
- 5. 加工施設を中心としたクラスター形成の促進 (新規雇用者数 (川下累計)) = H31:32 人 (H28:20 人)

【直近の成果】

- 1. 製材所の加工力強化 (国産材の製材品出荷量) = 9.2 万 m<sup>3</sup> (11 月末時点推定)  
※H28 の推定  
H28.4 月から 11 月までの製造品出荷量 149 千 m<sup>3</sup> (うち、外材の製造品出荷 57 千 m<sup>3</sup>)  
外材の製材品出荷量は 4 月から 11 月までの輸入量:93 千 m<sup>3</sup> に製品歩留 59% (フリッジ:2 千 m<sup>3</sup> に 90%) を乗じて算出 (93 千 m<sup>3</sup> × 59%) + (2 千 m<sup>3</sup> × 90%) = 57 千 m<sup>3</sup>  
149 千 m<sup>3</sup> - 57 千 m<sup>3</sup> = 92 千 m<sup>3</sup>
- 2. 県内企業による協業化・大型化の検討 (原木消費量 3 万 m<sup>3</sup> 以上の製材工場数) = 一社 (12 月末時点予定)
- 3. 集成材工場の整備 (構造用集成材工場の工場数) = 1 施設 (11 月竣工)
- 4. CLTパネル工場の整備 (CLTパネル工場の工場数) = 一施設
- 5. 加工施設を中心としたクラスター形成の促進 (新規雇用者数 (川下累計)) = 19 人 (12 月末時点予定)  
池川木材工業:11 人、集成材工場 (正和木材(株)):8 人